



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：経済状況

(7月26～30日付現地各紙)

1. 旅行者向け優遇レートの停止 (26日付ハムシャフリー紙)

イラン国会の議員らは、イラン中央銀行のバフマーニー総裁の発言を引用し、「旅行者向け(1ドル=12,260リヤルの優遇)レートはカットされる」と述べた。ユーセフィヤーン・モッラー議員は「旅行者向けレートはマッカなどへの巡礼者にのみ割り当てられ、他の旅行者はこの対象ではない」とした。

2. 基礎物資の輸入 (28日付ハムシャフリー紙)

アフマディーネジャード大統領は、総額240億ドル分の基礎物資の輸入を指示した。過去数カ月間、基礎物資の輸入が困難となっている中で、物資が不足し物価高騰を招いた。大統領は、商業・工業鉱山省に対し、戦略物資(小麦、家畜飼料、原料油、粗糖、米)および基礎物資の数カ月間に及ぶ備蓄を命じた。これと同時に、10万トンの赤肉(羊肉・牛肉類)、5万トンの鶏肉の輸入許可も発行された。

3. 経済情勢に関する議論 (29日付シャルグ紙)

石油大臣、経済財務大臣、農業開発推進大臣、商業・工業鉱山大臣、イラン中央銀行総裁、イラン商工鉱業会議所会頭らが国会に召集され、昨今の物価上昇について説明を行った後、29日にアフマディーネジャード大統領は、国会議員と経済情勢について議論を行う予定である。

4. 外貨割当レートの変更 (30日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

イラン中央銀行の通達によると、旅行者向けおよび輸入品向け外貨割当レートが変更となった。

- ・ 旅行者向け割当レート；マッカ、シリア、イラクへの巡礼の場合200ドルまで
- ・ 学生向け割当レート；従来通り
- ・ 輸入品向けレート；10段階のうち、レベル1～2は無条件にて公定レートを付保。レベル3～5は「基準外貨相場(公定レート)」の申請登録が必要となる。今回の新たな決定により、レベル3以下の輸入品への基準外貨相場付保は全てキャンセルとなる。ITPO (Trade Promotion Organization of Iran ; <http://www.tpo.ir/>) 副総裁は「現在の優先物資は基礎物資、医薬品、医療機器であり、銀行システムが240億ドル以上確保できる場合はレベル3～5の輸入品にも公定レートが付保されるであろう。金融決済問題が解決した場合、10段階全ての輸入品に公定レートを付保することになる」とした。経済界や輸入業者の一部は「今回の通達は政府のマクロ制裁に反する」と批判している。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799